

ロシア語代名詞の分類

稲垣敏夫

まえがき

I 従来 of 文法書および教科書による代名詞の分類

II 「現代ロシア文語文法」による代名詞の分類

あとがき

まえがき

ロシア語の品詞 (части речи) とは、単語の類別したものをいい、第一に、それらが共通の範疇に属する意義を持つこと、即ち、そのグループに属する全単語が語彙的にも、また文法的にも共通の側面を持つこと、第二には、語形変化の共通性を持つこと、第三には、措辞論的機能の同一性が要求される、とある。現代ロシア語の全単語は十品詞 (名詞、形容詞、数詞、代名詞、^①動詞、副詞、前置詞、接続詞、小詞、間投詞) に分類されるが、八杉、木村両氏の共著「ロシア文法」によれば小詞を除いて九品詞とされている。このように文法の根源をなす品詞の分類についてさえ異説のあるところであるが、それはさておき、この小論文では、この十品詞のうちの代名詞 (местоимение) の分類を比較検討してみたいと思う。

従来からの代名詞の分類は、どの著者のものをとってみても、大同小異で、こと新しいものはなかったが、最近ソ連科学アカデミーのロシア語研究所で編纂された「現代ロシア文語文法」に、従来の分類と違った極めて特異で、斬新と思われるものがあるので、それを、従来のものそのものも比較しつつ、対比してみたいと思う。

I 従来 of 文法書および教科書の代名詞の分類

1 「ロシア語文法」(第1巻)の分類

(エリ・ヴェ・シチュエルバ監修 1951年 モスクワ)^⑤

代名詞 (местоимение) とは名詞、形容詞および数詞に代って使用される品詞をいう。(同書 118p.)

(1)

1 代名詞は意義上次の如く分類される。

(1) 人称代名詞 (личное местоимение)

- 1 人称 я (私) мы (私たち)
2 人称 ты (君) вы (君たち, あなたがた)
3 人称 он (彼) они (彼たち, 彼女たち, それら)
она (彼女)
оно (それ)

注 もし、この代名詞3人称を性格の形で物主代名詞の意味に使用する場合、前置詞のあとにнを付加しない。(同書 121 p.)

(2) 再帰代名詞 (возвратное местоимение)

себя (自分) (再帰代名詞は三つの人称に共通して使用される)

(3) 物主代名詞 (притяжательное местоимение)

мой (私の) твой (君の) свой (自分の) наш (私たちの) ваш (君たちの)

注 通常3人称物主代名詞として用いている его (彼の, それの) её (彼女の) их (彼らの) をこの系列に入れず、前記注の如く人称代名詞の変化表の注として処理している。(筆者)

(4) 指示代名詞 (указательное местоимение)

этот (この) тот (その) такой (このような, そのような) столько (それほど)

(5) 定代名詞 (определятельное местоимение)

каждый (おのおの) весь (すべての) всякий (あらゆる) самый (まさにその) сам (自身)

(6) 疑問代名詞 (вопросительное местоимение)

кто (誰) что (何) какой (どのような) который (いずれの, 何番目の) чей (誰の) сколько (いくら, 何程)

(7) 関係代名詞 (относительное местоимение)

疑問代名詞が疑問の意味を持たずに文と文の接続に使われる場合に関係代名詞となる。

(8) 否定代名詞 (отрицательное местоимение)

никто (誰も…ない) ничто (何も…ない) никакой (どんな…も…ない)
ничей (誰の…も…ない) некого (…すべき誰もいない) нечего (…すべき何もない)

(9) 不定代名詞 (неопределённое местоимение)

некто (ある人, 某) нечто (あるもの, 何か) некоторый (若干の)

некий (ある, 一種の) несколько (若干, 幾分) кто-то (ある人が, 誰かが) что-то (あることが, あるものが) чей-то (誰かの) кто-либо (誰か, 誰でも) что-либо (何か, 何でも) чей-либо (誰かの, 誰のでも) какой-либо (どんなかのでも) который-либо (何番目のでも, いずれかのでも) кто-нибудь (кто-либоに同じ) что-нибудь (что-либоに同じ) чей-нибудь (чей-либоに同じ) какой-нибудь (какой-либоに同じ) который-нибудь (который-либоに同じ) кое-кто (ある2, 3の人) кое-что (ある2, 3のもの; あれやこれや) кое-какой (あれこれの; 2, 3の; ちょっとした) (以上同書 119p.)

2 代名詞 я, ты, себя, кто, что, никто, ничто その他は名詞の代りに用いられ, 文中主語又は補語となる。このような代名詞を名詞的代名詞 (местоименное существительное) という。

代名詞 который, какой, такой その他は形容詞の代りに用いられ, 文中では通常形容詞と同じく定語となる。このような代名詞を形容詞的代名詞 (местоименное прилагательное) という。(同書 120, 121 pp.)

2 「初歩ロシア語文法」の分類^⑧

(プリキナ・イ・エム プロGRESS モスクワ 正田あきら訳 1968年 ナウカ社)

シチュルバと同様, 代名詞を九種に分類し, その分類内容も全く同じであるが, ただ物主代名詞において, 更に3人称を加え, его (彼の, それの) её (彼女の) их (彼らの, それらの) としている。このことは, プリキナの場合, この不変化の三人称物主代名詞を正式に系列化したのに反し, シチュルバの場合は, あくまでも人称代名詞3人称の生格の形 (он, оно — его, она — её, они — их) として捉えている。これは名詞の生格が一名所有格といわれるように, 物の所屬を表現するのと同じ発想であろう。

3 「ロシア文法」の分類^⑨

(八杉貞利・木村彰一共著 1957年 第3刷 岩波)

1 両氏によれば, 代名詞はその変化および使用の観点から3つの種類に分れる, とし, (1) 多少とも独自の変化をなし, 名詞の限定語たるを得ないもの: я, ты, он, оно, она, мы, вы, они; кто, что. (2) 多少とも独自の変化をするが, 名詞の限定語たるを得るもの: мой, твой, свой, наш, ваш, его, её, их; чей; сам; весь; этот, тот. (3) 形容詞と等しく変化し, 形容詞と等しく名詞の限定語たり得るもの: такой, который, какой, таковой, каковой, самый. (同書 (3))

72 p.) の如く分類している。

この分類の(1)にある代名詞は、名詞の限定語たるを得ないもの、となっているが、それは正しく前掲シチュエルバ、その他の⑩のように、名詞に代って文中主語又は補語となるもので、名詞的代名詞に該当する。(3)に示す代名詞はシチュエルバ、その他の分類による形容詞的代名詞である。また、(2)は後述の諸氏の分類によっても⑩明らかな如く、やはり形容詞的代名詞に属するものである。

2 更に、両氏によれば、代名詞はその意義上から、便宜的に、人称、物主、指示、疑問、関係、定、不定、否定、数量 (количественное местоимение)、相互 (взаимное местоимение) の10種に分類する (同書 72 p.) としている。

ここで注目すべきは、前2者が9種に分類しているのに対し、この場合は10種に分類し、数量、相互の2代名詞を加え、数量代名詞には много (たくさん)、мало (少し)、немного (少し) のほか、前2者の分類になる定代名詞から весь (すべての) を、不定代名詞から несколько (若干、幾分) を、疑問代名詞から сколько (いくら、何程) を、更に指示代名詞から столько (それほど) を含ませ (同書 85, 86 pp.) ている。

相互代名詞は前2者にはないもので друг друга (お互いに)、один другого (お互いに) を含めている。(同書 88 p.)

また、前2者に独立代名詞としてある再帰代名詞を省略し、себя (自分) を再帰人称代名詞として人称代名詞の範囲に含ませている。(同書 72 p.)

4 その他の著者の分類

次に紹介する幾つかの分類は、前3者が文法書として編纂したのに対し、教科書として編集してあるため、系統だった分類はなく、学習の進度に応じて適宜、各代名詞を混合した形で述べられている。以下それらを簡単に説明しよう。

1 「ロシア語初級コース」の分類^⑩

(エヌ・エフ・ポターポワ 1954, 1955年 モスクワ 外国語図書出版所 全2巻)

(邦訳・石山正三 1958年 白水社 全3巻)

前掲書シチュエルバやプリキナと全く同じ分類に属し、意義上代名詞を9種類に分けている。形態論的变化形および措辞論的機能の上からは、八杉、木村両氏の1の(2)および(3)を形容詞と同じ変化をすると述べている (同書邦訳第2巻155, 183~185, 197 pp.) が、1の2に示すシチュエルバのように形容詞的代名詞という定義づけはない。

2 「簡約ロシア語文法」の分類^⑮

(東郷正延著 1963年 第12版 白水社)

この本の分類は主としてその変化形および措辞論的機能の上から分類している。しかし意義上の分類はシチュエルバ、プリキナ、ポターポワの場合と同じく9種類である。

まず、形容詞的代名詞として物主代名詞：чей, мой, твой, наш, ваш, его, её, их. (同書 23, 24pp.) 指示代名詞：этот, тот. (同書 52, 53p.) 定代名詞：весь (同書 53p.) 単に代名詞として：какой, такой, каждый, всякий, самый, который, никакой (同書 54p.) などを含ませている。また、名詞的代名詞として人称代名詞：я, ты, он, она, оно, мы, вы, они. 再帰代名詞：себя. 否定代名詞：никто, ничто, некого, нечего. 不定代名詞：кто-то, что-то, кто-нибудь, что-нибудь. 疑問代名詞として：кто, что (以上同書 56~58pp.) などとしている。

3 「ロシア文法の基礎」の分類^⑯

(木村彰一著 1964年 白水社)

木村氏は故八杉氏と共著の「ロシア文法」では代名詞を意味上10種としているが(既述)、本教科書においてはシチュエルバ、プリキナ、ポターポワと同様9種に分類している。

しかして、変化形および文中における機能上からの分類としては形容詞的代名詞として物主代名詞：мой, твой, наш, ваш, его, её, чей, свой. (同書 23, 26, 73pp.) 指示代名詞として：этот, тот, такой. (同書 26, 73, 88pp.) 定代名詞として：весь, сам, каждый, всякий, самый. (同書 26, 74, 88pp.) 疑問代名詞として：какой, которой. (同書 88p.) をあげている。しかしシチュエルバや東郷氏に見られる名詞的代名詞としての分類は見られない。

4 「入門ロシア語文法」(改定版)の分類^⑰

(和久利誓一著 1970年 白水社)

和久利氏は代名詞を意義上10種に分類している。しかして、そのうちの9種はシチュエルバ、プリキナ、ポターポワの各氏にみられる人称、物主、指示、再帰、定、不定、否定、疑問、関係の各代名詞で、変りはないが、更に数量代名詞を加えて10種としている。しかし、普通疑問代名詞に含められている чей (誰の) が物主代名詞としても(同書 31, 88pp.)、また疑問代名詞としても(同書 99p.) 分類されている。чей は疑問物主代名詞とも呼ばれるものであるが、やはり機能上(関係代名詞となり得るなど)からは疑問代名詞の分類に含めるのがよいと思われる。

変化形および文中における機能上から来る分類では、このすぐ前の木村氏の著
(5)

書と同様に、形容詞的代名詞としての分類はあるが(同書 88~91p.)、名詞的代名詞としての分類はない。

5 「ロシア語基本と活用」^⑥の分類

(佐々木 彰著 1972年 白水社)

佐々木氏はプリキナ、シチュエルバと同じく、代名詞を意義上9種に分類している。しかし、変化形および文中の機能上からする分類は見当らない。

本書で印刷上のミスではないかと思われるものがあるので、ちょっと指適しておきたい。

(1) 代名詞 *весь* (すべての) が22頁では指示代名詞となっており、52頁では定代名詞になっているが、一般的な分類では定代名詞が普通である。(2) 55頁の不定代名詞の分類に、通常、不定副詞 (*наречие неопределительное*)^⑦ に属する *когда-то* (いつか)、*где-то* (どこか)、*когда-нибудь* (いつか)、*где-нибудь* (どこか) が含まれている。

以上、これまでに8種類の文法書および教科書について検討してきたが、ロシア語の代名詞の分類には二つの基本姿勢があり、一つは意義上の分類であり、他の一つは形態論の立場からくる変化形および文中における措辞論的機能から見た分類である。

前者についていえば、代名詞はその意義上全部で11種に分類されているのを見た。しかし、ロシア人の著者3名を含む大部分は、そのうち、人称、物主、指示、再帰、定、不定、否定、疑問、関係の9種を以てよしとした。わずかに、和久利氏がそれに数量代名詞を加えて10種とし、八杉、木村共著において、それに数量、相互の両代名詞を加え、再帰代名詞を省いて10種としたが、分類の基本的態度は全部同じである。

後者については判っきり名詞的代名詞と形容詞的代名詞に分類しているのがシチュエルバおよび東郷の両氏であり、八杉・木村共著にはその言葉はないが、判っきりとそれを示している。また、形容詞的代名詞のみの分類は、判っきりその語を使用しているのが、木村・和久利両氏の教科書であり、形容詞の如く変化する代名詞とのみ記しているのがプリキナおよびポターポワの両教科書である。ただ一つ佐々木氏の教科書にはこの分類がない。もっとも、初歩的学習の段階では、前者が必要であって、後者はさほど必要性はないのである。そのことはロシア人編纂の文法書、教科書にもみることができる。

II 「現代ロシア文語文法」^⑧の代名詞の分類

(エヌ・ユ・シヴェードワ監修 ソ連科学アカデミー・ロシア語研究所編纂
1970年 モスクワ ナウカ出版所)

この文法書によれば、「まえがき」にも述べた如く、品詞とは単語の類別したものをいい、第1に、それが語彙的にも、また文法的にも共通の範疇に属し、第2には、語形変化の共通性を持つこと、第3には、措辞論的機能の同一性があることを要求している。(同書 304p.) 従って、これを換言すれば、以上の三つの条件に合致しないものは、本文法書では同一品詞とみないのである。

次に紹介する一つの品詞としての代名詞 (местоимение) の分類は、単なる意義上の分類ではなく、厳密に上記3条件に則った分類である。

1 本文法書によれば、代名詞とは人および物を示すことを意味する品詞であって、格および数の文法の範疇と性の語彙的文法の範疇に (в грамматических категориях падежа, числа и лексико-грамматической категории рода) その意義を表現するものをいうと定義づけている。(同書 305p.) この場合の代名詞 (местоимение) は人および物^②を示すものであるから、単なる местоимение ではなく местоимение-существительное (名詞的代名詞) なのである。(同書 304, 305pp.) 従って上記3条件に適合するためには、従来意義上の分類によって、形容詞や数詞の代りに使用されるもの、とされていた代名詞 (シチュエルバの分類参照) は代名詞の分類に含まれないことになる。

2 本書では、更に名詞的代名詞を分類して、1 人称代名詞 (личные местоимения): я, ты. (複数 мы, вы.) 2 再帰代名詞 (возвратное местоимение): себя. 3 指示代名詞 (указательное местоимение): он (она, оно, они.) 4 疑問代名詞 (вопросительные местоимения): кто, что. 5 不定代名詞 (неопределённые местоимения): кто-то, что-то, кто-нибудь, что-нибудь, кто-либо, что-либо, кое-кто, кое-что, некто, нечто. 6 否定代名詞 (отрицательные местоимения): никто, ничто, некого, нечего.

(同書 305, 306 pp.) の6代名詞とし、物主、定、関係、数量、相互の各代名詞が脱落しているのが目につく。更に特異なのは、従来分類によれば、指示代名詞とは этот (この) および тот (その) その他であったのが、本分類では он—彼女 (она—彼女、 оно—それ、 они—彼ら、それら) であり、従来の人称代名詞3人称に属するものである。それについて次の注は注目に値する。

注 指示代名詞 (указательное местоимение) он (она, оно, они) は第3者 (話をしていない者および非対話者) あるいは物 (人でない) を標示する役目を果し、このプランにおいては、人称代名詞 (личные местоимения) я (мы), ты (вы) に対比させ、動詞の人称形 (単数および複数の3人称) と結合する。それ故に、この指示代名詞が、しばしば、人称代名詞として取扱われることが説明されよう。(同書 306p.)

3 それならば、本分類によって、代名詞としての資格を失ない、脱落したも
(7)

のが、本文法書ではどう取扱かわれているかを検討しよう。

形容詞 (имя прилагательное) は物体の特徴を表わし、その意義を性、数、格の文法の範疇に表現する品詞である。(同書 306 p.)

形容詞は意義上、性質形容詞 (качественное прилагательное) と関係形容詞 (относительное прилагательное) に分類されるが、もう一つの分類として、全ての形容詞は独立形容詞 (又は意味形容詞) (знаменательное прилагательное) — それ自体が独立して意味を持つこと — および代名詞的形容詞 (местоименное прилагательное) とに分けられる。(同書 307 p.)

この代名詞的形容詞は更に、1 人称代名詞的形容詞 (личные) : мой, твой, наш, ваш. 2 再帰代名詞的形容詞 (возвратные) : свой. 3 物主代名詞的形容詞 (притяжательные) : его, её, их. 4 指示代名詞的形容詞 (указательные) : тот, этот, такой, этакый, таков, следующий. 5 定代名詞的形容詞 (определительные) : всякий, всяческий, каждый, любой, весь, целый, иной, другой, сам, самый. 6 疑問代名詞的形容詞 (вопросительные) : какой, который, чей, каков. 7 不定代名詞的形容詞 (неопределённые) : какой-то, какой-нибудь, чей-то, чей-нибудь, чей-либо, кое-какой, некоторый, некий. 8 否定代名詞的形容詞 (отрицательные) : никакой, никоторый, ничей. の 8 種の代名詞的形容詞に分類されている。(同書 307 p.)

注 否定代名詞的形容詞の斜格では、名詞的代名詞と同じく、前置詞は否定のあとに来る。ни у каких предметов (如何なる物にも…ない), ни от каторого из них (そのうちのどれからも…ない), ни с чьим мнением (誰の意見とも…ない)。(同書 307 p.)

代名詞的形容詞は閉鎖的グループを形成し、その意義および文法的特徴からすれば、それは関係形容詞に属する。(同書 307 p.)

以上の分類に見られるように、従来代名詞と見られていたもののうち形容詞的代名詞と称せられるものは総て形容詞の範疇に含められたことである。

この代名詞的形容詞の分類で特徴的なのは、従来の分類で物主代名詞として一括されていた мой, твой, наш, ваш が人称代名詞的形容詞となり、его, её, их が物主代名詞的形容詞として、二つの範疇に分類されたことである。この新分類によれば、八杉・木村共著の「ロシア文法」および和久利氏の教科書に独立した項目として現われている数量代名詞や、その他の文法書および教科書にある数に関する代名詞は、代名詞としても、また代名詞的形容詞としても取扱われなくなっている。

む す び

以上の分析で明かな如く、今日までのロシア語文法の常識としては、Iの項で述べた文法書、教科書など8著作の中に示された代名詞の分類が正しいものとされてきた。即ち、ロシア語の代名詞はその意義上の分類を主体として、一般的にはこれを人称、再帰、物主、指示、定、疑問、関係、否定、不定の9種に分類するを普通としている。故八杉氏の文法書にある数量、相互の2代名詞を加え、再帰代名詞をはぶき、人称代名詞に加えて10種としたものは稍々古い分類に属するものと思われる。しかしながら、元来、ロシア語の文法は日本人言語学者の独創になるものではなく、総てロシア人学者の研究成果を吸収したものであるといっても過言ではない。その意味で、八杉氏が若い頃ロシアに留学し、戦前、戦後を通じてわが国のロシア語研究の向上に貢献された業績は偉大で、当時としては最も権威ある文法書であったのである。^②

ロシア語の代名詞を形態論および措辞論の立場から、文中に果たす代名詞の機能的立場からの分類は以前からあったもので、それは、八杉氏の文法書にもみられる。しかし、これを名詞的代名詞、あるいは形容詞的代名詞と呼ぶようになったのは比較的新しいことと思われる。

しかし、この小論で筆者が強調したいのは、この権威あると思われる「現代ロシア文語文法」は従来の常識を破る新しい分類を試みていることである。この文法書はB5版、767頁に及ぶ大作で、その編集にはエヌ・ユ・シヴェードワ以下12名が参画し、その他多数の助言者が参加している。^③

代名詞の分類について、この文法書が述べている要点は、名詞に代って用いられるもののみが代名詞であって、それは人称、再帰、指示、疑問、不定、否定の6種であり、他の代名詞を形容詞とし、これを独立形容詞に対比させて人称代名詞的形容詞以下8種の代名詞的形容詞に分類していることである。

この文法書はその内容からみて、相当高級のものと思われるが、この種文法書の出現によって、今後のロシア語文法の流れがどう変わるか注目したいところである。特にソ連における中等教育の教科書編集の動向の変化を注視したい。それは、また初級、中級文法を主体として構成されるわが国のロシア語研究に直ちに影響を及ぼすからである。

最後に、この小論で紹介した9種の文法書および教科書の代名詞の分類を一表に纏め、読者の便に供したい。

1972年8月12日

注 ① Грамматика современного русского литературного языка (現代ロシア文語文法…筆者訳) (エヌ・ユ・シヴェードワ 監修, ソ連科学アカデミー・ロシア語研究所編纂, 1970年, モスクワ, ナウカ出版社 304p.)

品詞に対するこのような定義づけは従来の文法書にはみられず、八杉・木村両氏の「ロシヤ文法」(1957年, 第3刷, 岩波, 19p.)にも, シチエルバ著 Грамматика русского языка (ロシア語文法) (1951年, モスクワ, 50, 51 pp.)にも単なる区分が羅列してあるだけである。

- ② ①の「現代ロシア文語文法」304p. およびシチエルバ著「ロシア語文法」50, 51pp.
- ③ ①の八杉・木村共著「ロシヤ文法」19p.
- ④ Грамматика современного русского литературного языка (現代ロシア文語文法) (エス・ユ・シヴェードロフ監修, ソ連科学アカデミー・ロシア語研究所編纂, 1970年, モスクワ, ナウカ出版所, 305~307pp.)
- ⑤ Грамматика русского языка (ロシア語文法) (Л. В. Щерба 監修, 1951年, モスクワ)
- ⑥ Краткая грамматика русского языка для лиц, говорящих на японском языке (初歩ロシア語文法) (ブリキナ・イ・エム, プログレス, モスクワ, 正田あきら訳, 1968年, ナウカ社)
- ⑦ 「ロシヤ文法」(Русская грамматика) (八杉貞利・木村彰一著, 1957年, 第3刷, 岩波)
- ⑧ 「簡約ロシヤ語文法」(Краткая русская грамматика) (東郷正延著, 1963年, 第12版, 白水社, 56~58pp.)
- ⑨ ⑧の23, 54 pp.
「ロシア文法の基礎」(Элементарный курс русского языка) (木村彰一著, 1964年, 白水社, 88頁)
「入門ロシア語文法」(改定版) (Начальный курс русского языка) (和久利誓一著, 1970年, 白水社, 33, 90, 91, 99 pp.)
- ⑩ ⑧の23, 24, 52, 53 pp.
⑨の2項「ロシア文法の基礎」23, 26, 72~74 pp.
⑨の3項「入門ロシア語文法」88, 89 pp.
- ⑪ Russian Elementary Course (ロシア語初級コース) (エヌ・エフ・ポターポフ, 1954・1955年, モスクワ外国語図書出版所, 全2巻, 邦訳石山正三, 1958年, 白水社, 全3巻)
- ⑫ 「簡約ロシア語文法」(Краткая русская грамматика) (東郷正延著, 1963年, 第12版, 白水社)
- ⑬ 従来の分類によれば какой, который は疑問, такой は指示, каждый, всякий, самый は定, никакой は否定の各代名詞である。
- ⑭ 「ロシア文法の基礎」(Элементарный курс русского языка) (木村彰一著, 1964年, 白水社)
- ⑮ 「入門ロシア語文法」(改定版) (Начальный курс русского языка) (Переработанное издание) (和久利誓一著, 1970年, 白水社)
- ⑯ 「ロシア語基本と活用」(Изучайте русский язык) (佐々木彰著, 1972年, 白水社)
- ⑰ ⑦の171p. およびその他。
- ⑱ ⑥の150, 151 pp.
- ⑲ ⑪の邦訳第2巻155, 183~185, 197 pp.
- ⑳ Грамматика современного русского литературного языка (現代ロシア文語文法) (エス・ユ・シヴェードロフ監修, ソ連科学アカデミー・ロシア語研究所編纂,

1970年, モスクワ, ナウカ出版社)

- ② 格(変化)に関しては代名詞は次のような特殊性を持っている。(1) 殆んど大部分の単語の主格および斜格の形態が各種語幹(основа)から構成されており, それらの相互関係が不規則である。(同書 306p.)

人称代名詞および再帰代名詞の単・複両数の語尾変化は, その女性的多様性のために, 名詞第1式変化に近いが同一ではない。単数における違いは, 主格が無語尾(я, ты)であり, 生格および対格では語尾 -а, -я を持つ。複数において名詞の第1式変化と違うのは, 生格および前置格において -ас (н-ас; в-ас) となる。語尾 -ас は代名詞のみに属するものである。代名詞 я, ты, себя (単数のみ) の格形態は次のようになる。

	単 数	複 数
主 格	φ	-и (-ы)
生 格	-а (-я)	-ас
与 格	-е (-е)	-ам
対 格	-а (-я)	-ас
造 格	-ој, -оју (-ой, -ою)	-ам'и (-ами)
前置格	-е (-е)	-ас

語 形 変 化 表

	単 数			複 数	
主 格	я	ты	—	м-ы	в-ы
生 格	мен-я	теб-я	себ-я	н-ас	в-ас
与 格	мн-е	теб-е	себ-е	н-ам	в-ам
対 格	мен-я	теб-я	себ-я	н-ас	в-ас
造 格	мн-ой (-ою)	тоб-ой (-ою)	соб-ой (-ою)	н-ами	в-ами
前置格	обо мн-е	о теб-е	о себ-е	о н-ас	о в-ас

変化表の注

1 代名詞の特異性は語幹の補足性(супплетивизм)にある。代名詞 я は単・複両数を通じて五つの語幹から成る。単数では я, мен-я, мн-е の三つであり, 複数では м-ы, н-ас の二つである。代名詞 ты は単・複両数では四つの語幹から成り, 単数では ты, теб-я, тоб-ой の三つで, 複数では в-ы, в-ас の一つである。代名詞 себя の単数の形態は себ-я, соб-ой の二つの語幹から成る。
 2 代名詞 он (она, оно) の単・複両数における斜格では, 前置詞に接続する場合 н が入る。例えば, от него, к ней, с ним, о них などである。3 再帰代名詞は不完全語形変化表を持つ。それは単数主格がないことと, 複数を全く欠くことである。(同書 389, 390 pp.)

混合変化する単語の語幹の相互関係

混合変化における語幹の相異は特定の単語にあらわれている。1 кто, что, никто, ничто の語幹は主格で т で終わっているが, 他の格では語幹に т を持たない。主格は кт-о, чт-о であるが, 他の格では к-ого, ч-его, к-ому, ч-ему などである。2 он, она, оно (複数 они) は単・複両数の主格に語幹 он- (複数では он'-) が現われているが, 他の格では j が現われている。主格では он, он-о, он-а であるが, 他の格では е-го ([j]-его), е-му ([j]-ему) である。(同書397p.)

(2) しばしば一つの音素 (j-ево, j-ему その他) あるいは無音素 (例えば, 単数造格の *им* や複数斜格 *их, им, ими* の如く, *j* が音素 *и* の前では分離されない) にさえなるといように, 語幹の概念そのものが一定の条件を持っていることである。(3) 単数および複数諸格の形態において, その語の残った部分が, 他のすべての独立語の語幹が持つと同様な語彙的意義が欠如する変化語尾の分離が行なわれる。(4) 指示代名詞において前置詞を伴わない場合と前置詞を伴う場合の二つの形態が存在する。(5) 多くの代名詞において斜格が欠如 (*некто, нечто*) し, あるいは単数主格を欠く (*себя, некого, нечего*) 場合がある。(6) 否定代名詞および不定代名詞の斜格において, 否定又は小詞のあとの前置詞の位置 (*не у кого, ни от кого, кое с кем*) に特徴がある。(同書 306 p.)

代名詞は数において対比するもの (*я — мы, ты — вы, он — они*) と対比しないもの (残余の全部: *себя, кто, что, никто, ничто* その他) に分けられる。

注 *я* および *мы, ты* および *вы* の単語の形態は名詞の単数と複数の相互関係とは違ったものであるが, 同一の語彙 (лексема) に属するものとみなされ, 語形変化においては, 名詞の補充法的形態 (супплетивные формы) *человек — люди, ребенок — дети* の如く対比されるものである。(同書 306 p.)

性に関して代名詞は二つのグループに分れる。(1)は性を持つ代名詞は2種あり, (a)は性の意義が形態論的に決定される代名詞で, 語尾変化が形態の本源から発するもの (例えば *он, она, оно*) であり, (б)は性の意義が措辞論的に表現される代名詞で, 対応する形容詞の形で表現されるもの (例えば *кто, некто, кто-то, кто-нибудь* は常に男性であり, *что, нечто, что-то, что-нибудь* は常に中性である) である。(б)の全代名詞は数で対比するものを持たない。(2)は性を持つ範疇に属さない代名詞 (例えば *я, ты, себя*) である。(同書 306 p.)

② 八杉貞利 (1876~1966年) ロシア語学者。東京に生れた。日本のロシア語学界の先進の一人であり, 現在日本でロシア語の研究にたずさわる者の大部分は, 直接, 間接にその教えを受けている。東京帝国大学文学部言語学科卒業後, 1903年ロシアに留学したが, 翌年日露戦争が起ったため帰国, 間もなく東京外国語学校教授となり, 1936年停年退官まで約30年にわたり, 同校ロシア語科主任教授の職にあり, かたわら東京大学, 早稲田大学の講師をつとめた。著書としては「岩波版露和辞典」(1935)が代表的である。語彙および用例の豊富, 訳語の正確は辞書のすぐれた特徴であるが, とくに各変化語の変化形態とアクセントの移動の指示は, 当時, 世界のどのロシア語辞典にも見られなかったほど完全なもので, 日本のロシア語学習者に与えた便益ははかり知れないものがあつた。なお文学方面の著書には, ロシア留学から帰国後あらわした「詩宗プーシキン」があり, 語学方面では大正期に「ロシア語学習階梯」「初等ロシア文法」がある。いずれも啓蒙的なもので, 内容が正確であり, 所説が穩健中正であることは, 著者のすぐれた才能と深い学殖をうかがわせるに十分である。晩年の大きな仕事は「岩波ロシア語辞典」で60年完成した。東京外語大学名誉教授, 日本ロシア文学会名誉会長であつた。64年レニングラード大学から名誉文学博士号を贈られた。(木村彰一) (世界大百科事典, 22巻, 115p., 1967年 平凡社)

③ ⑦の 72p.

④ ⑩の 6p.: С. Н. Дмитренко (音韻論), В. В. Лопатин, И. С. Слуханов (形態素論序説と語の構成論概説), В. В. Лопатин (名詞, 形容詞, 副詞の語の構成), И. С. Слуханов (動詞の語の構成), В. А. Плотнокова (И. С. Авилова の執筆した動詞の体と相の分類以外の形態論), В. А. Редькин (語形変化における力点と音の

代 名 詞 分 類 一 覧 表

書名	Грамматика русского языка (ロシア語文法) (エリ・ヴェ・シチュルバ著, 1951年, モスクワ)	Краткая грамматика русского языка (初歩ロシア語文法) (フリキ・ナイ・エム, 正田あきら訳, 1968年)	「ロシア文法」(Русская грамматика) (八杉貞利・木村彰一著, 1957年, 岩波)	Russian Elementary Course (ロシア語初級コース) (エズ・エフ・ボターボフ, 石山正三訳)	「簡約ロシア文法」(Краткая русская грамматика) (木村彰一著, 1963年, 白水社)	「ロシア文法の基礎」(Элементарный курс русского языка) (木村彰一著, 1964年, 白水社)	「入門ロシア語文法」(Начальный курс русского языка) (和久利留一著, 1970年, 白水社)	「ロシア語基本と活用」(Изучайте русский язык) (佐々木彰著, 1972年, 白水社)	Грамматика современного русского литературного языка (現代ロシア語文法) (エヌ・ユ・シムурード著, 1970年, モスクワ)		
新名	я (私) мы (私たち) ты (君) вы (君たち, あなたがた) он (彼) она (彼女) они (彼たち, それら) оно (それ)	я мы ты вы он она они	я мы ты вы он она они	я мы ты вы он она они	я мы ты вы он она они	я мы ты вы он она они	я мы ты вы он она они	я мы ты вы он она они	я мы ты вы он она они		
入新代名詞	себя (自分) (主格を欠く)	себя	себя	себя	себя	себя	себя	себя	себя		
再代名詞	мой (私の) твой (君の) свой (自分の)	мой твой его её свой	мой твой его её свой	мой твой его её свой	мой твой его её свой	мой твой его её свой	мой твой его её свой	мой твой его её свой	мой твой его её свой		
物主代名詞	этот (この) такой (このような) столько (それほど)	этот такой столько	этот такой столько	этот такой столько	этот такой столько	этот такой столько	этот такой столько	этот такой столько	этот такой столько		
指示代名詞	каждый (おのの) весь (すべての) всякий (あらゆる) самый (まさにその)	самый всякий каждый	самый всякий каждый	самый всякий каждый	самый всякий каждый	самый всякий каждый	самый всякий каждый	самый всякий каждый	самый всякий каждый		
定代名詞	кто (誰) что (何)	кто что	кто что	кто что	кто что	кто что	кто что	кто что	кто что		
疑問代名詞	какой (どのような) который (いずれの, 何番目の) чей (誰の) сколько (いくつ, 何程)	какой который чей сколько	какой который чей каков (どのような) кой (いづれの, いかなる)	чей какой который	какой чей	чей какой который	какой который чей (物主代名詞にもあり)	какой который чей	какой который чей		
疑問代名詞	кто (誰) какой (どのような) который (いずれの, 何番目の) чей (誰の) сколько (いくつ, 何程)	кто который что	кто который что	кто который что	кто который что	кто который что	кто который что	кто который что	кто который что		
疑問代名詞	никто (誰も…ない) некого (…すべき誰も…ない) ничей (誰の…もない)	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего		
否定代名詞	никто (誰も…ない) некого (…すべき誰も…ない) ничей (誰の…もない)	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего	никто некого ничего		
不定代名詞	кто-то (ある人, 某) что-то (あるもの, 何か) кто-нибудь (ある人が) (あるものが) (誰でも) (何でも) кто-нибудь (誰でも) (何でも) кое-кто (ある2,3の人) (ある2,3のもの)	кто-то что-то кто-нибудь кто-либо кто-нибудь кое-кто кое-что	кто-то что-то кто-либо кто-нибудь кто-либо некто кое-кто	кто-то что-то кто-нибудь кто-либо кто-нибудь кое-кто кое-что некто нечто	кто-то что-то кто-нибудь кто-либо кто-нибудь кое-кто кое-что некто нечто	кто-то что-то кто-нибудь кто-либо кто-нибудь кое-кто кое-что некто нечто	кто-то что-то кто-нибудь кто-либо кто-нибудь кое-кто кое-что некто нечто	кто-то что-то кто-нибудь кто-либо кто-нибудь кое-кто кое-что некто нечто	кто-то что-то кто-нибудь кто-либо кто-нибудь кое-кто кое-что некто нечто	кто-то что-то кто-нибудь кто-либо кто-нибудь кое-кто кое-что некто нечто	
不定代名詞	некоторый (若干の) некий (ある, 一語の) несколько (若干, 幾分) чей-нибудь (誰の) чей-нибудь (誰の) какой-нибудь (どんなか) (何でも) какой-нибудь (何番目かの) который-нибудь () кое-какой (あれこれの)	некоторый некий несколько чей-нибудь чей-нибудь какой-нибудь	какой-то какой-нибудь какой-либо некоторый (総論) который-нибудь () чей-то чей-нибудь чей-либо некий кое-какой	какой-то чей-то какой-нибудь чей-нибудь какой-либо чей-нибудь некий кое-какой	какой-то чей-то какой-нибудь чей-нибудь какой-либо чей-нибудь некий кое-какой	какой-то чей-то какой-нибудь чей-нибудь какой-либо чей-нибудь некий кое-какой	какой-то чей-то какой-нибудь чей-нибудь какой-либо чей-нибудь некий кое-какой	какой-то чей-то какой-нибудь чей-нибудь какой-либо чей-нибудь некий кое-какой	какой-то чей-то какой-нибудь чей-нибудь какой-либо чей-нибудь некий кое-какой	какой-то чей-то какой-нибудь чей-нибудь какой-либо чей-нибудь некий кое-какой	
不定代名詞	много (たくさん) мало (すこし) немного (すこし) несколько () сколько () столько () многое (多くの) друг друга (お互いに) один другого ()	много (たくさん) мало (すこし) немного (すこし) несколько () сколько () столько () многое (多くの) друг друга (お互いに) один другого ()	много (たくさん) мало (すこш) немного (すこし) несколько () сколько () столько () многое (多くの) друг друга (お互いに) один другого ()	много (たくさん) мало (すこш) немного (すこし) несколько () сколько () столько () многое (多くの) друг друга (お互いに) один другого ()	много (たくさん) мало (すこш) немного (すこし) несколько () сколько () столько () многое (多くの) друг друга (お互いに) один другого ()	много (たくさん) мало (すこш) немного (すこし) несколько () сколько () столько () многое (多くの) друг друга (お互いに) один другого ()	много (たくさん) мало (すこш) немного (すこし) несколько () сколько () столько () многое (多くの) друг друга (お互いに) один другого ()	много (たくさん) мало (すこш) немного (すこし) несколько () сколько () столько () многое (多くの) друг друга (お互いに) один другого ()	много (たくさん) мало (すこш) немного (すこし) несколько () сколько () столько () многое (多くの) друг друга (お互いに) один другого ()	много (たくさん) мало (すこш) немного (すこし) несколько () сколько () столько () многое (多くの) друг друга (お互いに) один другого ()	

この文法書は従来の分類で形容詞的代名詞とすべて形容詞としている。

入新代名詞的形容詞 мой наш твой ваш свой

再代名詞的形容詞 его её их

物主代名詞的形容詞 свой чей (疑問代名詞としてもある)

指示代名詞的形容詞 этот тот

定代名詞的形容詞 каждый самый всякий самый

疑問代名詞的形容詞 какой который чей сколько

疑問代名詞的形容詞 кто что

否定代名詞的形容詞 никто некого ничто нечего

不定代名詞的形容詞 кто-то что-то кто-нибудь кто-либо кто-нибудь кое-кто кое-что некто нечто

不定代名詞的形容詞 некоторый некий несколько чей-нибудь чей-нибудь какой-нибудь

不定代名詞的形容詞 много мало немного сколько столько многое друг друга один другого

交替), Н. Ю. Шведова (措辞論のうち, 語の從屬的結合および語の文法的結びつき, このうち, 單純文における語順および文中における成分の順位は И. И. Ковтунова が執筆), Б. А. Белошапков (合成文), そのほか А. А. Зализняк, Е. П. Кржижкова, А. В. Бондарко が執筆した。

(本学専任講師・ロシア語)